

保護者が感じる働き方改革と部活動の活性化



先生も一人の人間として、自分の時間を持ち、家庭を大切に、私生活を充実したものにしたいと感じます。



部活を外部に委託すると、活動時間などに上限なく勝ち進むことに偏ってしまいそうな気がする。あくまで学業や健康を第一にした中での活動にしてもらいたいので、指導は先生にさせていただいて、その代わりに練習は2時間以内、週2日以上のお休みを設ける方向が良いと思う。休日の練習などは先生にも生徒にも負担になるのでなくて良いと思う。

古き良き昭和の時代に比べ、本来の教えるという仕事以外に、過重な業務が教師にのしかかり、疲弊が進んでいるように感じます。教育に集中できる環境に戻していくのがあるべき働き方であると思います。具体的には、行政から下りてくる調査や資料作り、勉強会は必要最低限とし、それ以上の冗長な作業には拒否権を認めるべきです。



先生の負担も多いと思いますが、先生として子供の部活にも関心をもってもらいたいです。



「働き方改革」と「部活動の活性化」の為には、思い切って今までの運営方法を変えていくことは必要だと思うが、中学生という性質を考えると全く学校生活から切り離してしまうことが良いのか、一保護者としては不安が残る部分は正直ある。「働き方改革」については、まったなしの部分が多いはずなので、学校と家庭との連携も（保護者の意識改革含め）大切にしたいと感じた。



部活動指導員を頼む事は、先生方の負担を減らす為にも賛成です。しかし、中学校の部活動はあくまでも学校の延長と考えています。部活動の活性化を強化する事により、生徒への負担も大きくなるのは、それはそれで問題だと思っています。



熱意を持って顧問をひき受けて下さる先生方に、それ相応の環境を一日も早く整えていただき、頑張る先生、生徒を応援していただきたいです。日本にしかない伝統ともなり得る「部活」の体制を、これからも維持し、守っていかれることを強く望みます。

